



市民フォーラム 牛窪 多喜男
自治会の法人化 6

問平成3年4月に地方自治法が改定された。自治会の法人化ができるようになったが、なぜできるようになったのか、その背景について聞きたい。

答市民部長 これまで自治会は、法人格のない団体として位置づけられ、団体名義では不動産登記ができなかった。そのため、不動産等の資産を保有している自治会は、個人名義や共有名義で登記を行っていたので、名義人の転居等により、名義変更や相続等の問題が生じる場合もあった。そこで、一定の手続きのもとに、自治会が地縁による団体として法人格を取得することができるようになった。

問新しい予防接種自治会の法人化

やまぶき会 倉嶋 美恵子 7



地域会議を実りあるものに

問今年度内に地域会議は設置される予定と聞く。地域会議を実りあるものとするために今後どのような取り組みを考えているか。

様々な活動を行っている他市の組織の会長等を招いた研修会等についても今後、実施していきたいと考えている。また、地域会議の代表者等が一堂に会する会議等の設置についても、現在、検討しているところである。

答市民部長 研修の一環として、地域会議の構成員をはじめ、市民も参加できる地域づくりに関する講演会を今年度末の3月に2回開催する予定である。他に、先行して同



やまぶき会 高梨 淑子 8
NPO法人の活動拠点施設

問平成27年4月にオープンする「ウエスタ川越」を活用して、市民活動団体等に、支援育成を図るのか。

答市民部長 「ウエスタ川越」内の2階に「ワーکشopp・情報コーナー」を設置し、市民活動団体等が簡単な打合せや交流が自由にできる場として活用していただくとともに、情報検索用のパ

ソコンなどの利用も予定している。また、当施設に埼玉県「川越比企地域振興センター」も入ることから、県との情報共有を図り、市民活動団体等に向けて情報発信等を積極的に行っていききたい。



やまぶき会 吉野 郁恵 9
高階の浸水対策整備計画は

問市街化区域での雨水管渠の整備率は約54%。高階地区の雨水処理整備率は30%である。高階地区の今後の浸水対策はどのような整備計画か。

ンブ増設を行う計画である。また、寺尾、藤間及び稲荷町周辺の浸水対策として、江川1号雨水幹線の整備について、東武東上線高架下が狭小であることから一時中断しているが、関係部署と連携を図りながら、工事実施に向けた検討を行いたいと考えている。

答事業推進部長 高階地区の今後の浸水対策については、新河岸駅周辺地区、地区整備計画に対応した雨水整備計画として、雨水管、雨水貯留管の築造及び雨水ポンプ場のポ



やまぶき会 三上 喜久蔵 10
川越市の農業の現状

問農業で一番の課題は、農業従事者の高齢化、後継者不足、基盤整備、生活環境整備であるが今後どのように取り組んでいくとするのか伺う。

答市長 昨年度、川越市農業振興計画の見直しを行い、地産地消の推進、生産量拡大、農地の保全を目標と定め、食糧の安定供給、担い手の育成・確保、市民ニーズの対応

と流通の多様化、環境と共生した持続可能な農業、農業基盤及び生活環境の整備等の事業を推進している。また、地域農業の仕組みづくりの為「一人・農地プラン」の策定を進めている。農家が安定した農業経営を継続できるような川越市農業振興計画に基づいた施策を推進している。



市民フォーラム 高橋 剛 11
エアコン導入着手の時期は

問財政上、運用上の課題、導入にあたっての組織体制づくりの課題等をひとつずつ乗り越えながら、エアコン導入に着手する時期はいつになるのか。

財政上の問題が重要であるが、綿密な計画も必要である。対象小中学校の調査、導入手法、エアコン機器の使用エネルギーの検討、導入までの確実なスケジュールなどを内容とする「基本設計」を策定する必要があり、その予算を計上する事が着手の第一歩と考える。

答市長 普通教室へのエアコン導入については、これまでも財政上のシミュレーション、導入手法、導入機器などについて、鋭意検討してきた。エアコンの導入には、

普通教室エアコン導入 (仮称) 川越東環状線